



外観イメージ(南面)

外部空地: 駐車場利用



大ホール イメージ

会議机: 75人配列

非常口は、屋外催事の出入口として、災害時の炊き出しでは、ダイレクトな内外動線に配慮

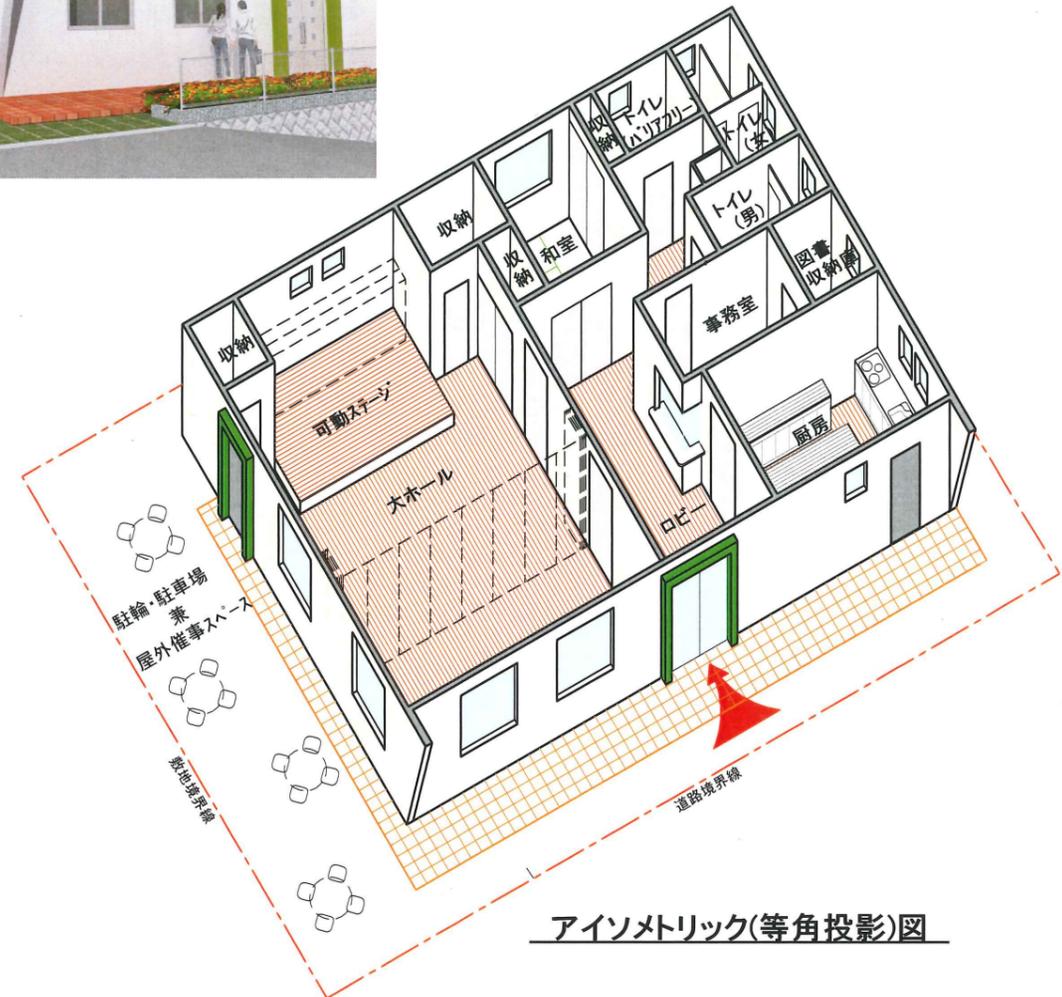


厨房 イメージ

配膳カウンター: 回遊動線を確保し、大人数での厨房の利用に配慮



外部空地: 屋外催事利用



アイソメトリック(等角投影)図

設計主旨

■自治活動がより一層活性化される拠点

地域イベントや、住民の多種多様な活動を通し、住民間のさまざまな情報交換を触発する場として、又、より活発な街づくり・自治活動の期待と満足感が共有され、新たな活動の開始と参加意欲をかきたてる拠点となることが期待されます。

■子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用し、交流できる施設

目的に応じたいろいろな使い方ができ、出会いや交流のきっかけづくり、子供から高齢者にとっても使いやすく、人々が親しみと愛着を持ち、町内のシンボルとなるファサード(外観)としました。

■バリアフリー(ユニバーサル)

下足コーナー以外は床段差がなく、多くの方に利用・参加しやすいユニバーサルデザイン。

■回遊動線(建物内外)

フレキシブル(可動間仕切り)な間取りと、大ホールの非常口・厨房の通用口により、建物内外の回遊動線で、様々なイベント・活動に配慮。

■高い耐震性能

災害時には、防災拠点としての機能を果たすべく、高い耐震性能(建築基準法の1.5倍を目標)。

